

第3次ごみゼロプラン中間見直し・改定用の回答シート(まとめ)

資料2-1

	ページ数	該当箇所	修正案又はご意見	事務局から
35	7	1人1日あたりのごみ・資源物排出量	凡例を下に記載し見やすくする。	修正しました。
36	10	雑誌・雑紙類は平成27年度3,753tから令和3年度3,046tと約19%減となっており、年々減少傾向となっております。新聞の行政回収量も同様に平成27年度515tから令和3年度295tとなっており、約43%減となっております。	雑誌・雑紙類は平成27年度4,315tから令和3年度3,432tと約20%減となっており、年々減少傾向となっております。新聞の回収量も同様に平成27年度1,235tから令和3年度614tとなっており、約50%減となっております。	数値は市の回収量のみで集団回収がふくまれてなかったため、集団回収を含めた数量を記載しました。
37	11、12、67、68	数値目標(総資源化率)の改定プランの記載	改定プランの記載は検証結果がわかるように引用する形で記載する。数値目標の所にも改定した旨を記載する。(資料1、資料2-2参照)	修正しました。
38	12、13、68	数値目標(焼却処理量)の記載について	脱焼却を含めたごみゼロ社会の実現に向けて、数値目標を修正せず、取り組んでまいります。(資料1、資料2-2参照)	修正しました。
39	18	行政回収から民間回収へのシフトを今後とも推進していく。	今後、ごみは行政回収→民間回収に移行するが、私も賛成であるが、事業者の方の待遇を改善して頂けたらと思います。	製造者や販売事業者の責任として民間回収を拡大していただきたいと考えておりますが、あくまで民間の独自事業として展開していただくものであり、それに賛同する市民がその事業者の物を購入する等により、事業者の経営に資するものと考えております。行政としては事業者の良い取り組みを紹介させていただく等の支援をしていきたいと考えております。
40	35、72	指標	P34で指標は「資源化率」となっているが、達成状況グラフでは「総資源化率」となっているが？	資源化率はごみ総量に対して資源化量の割合を指しておりますが、資源化量について行政回収のみが集団回収も含めるかといった同じ資源化率でも算定方法が異なる場合があります。総資源化率の場合、集団回収を含めた率となります。この指標という資源化率は集団回収も含めた総資源化率を指しており、そういった意味では総資源化率と表記するのが間違いがないため、総資源化率に改めさせていただきます。

第3次ごみゼロプラン中間見直し・改定用の回答シート(まとめ)

資料2-1

	ページ数	該当箇所	修正案又はご意見	事務局から
41	37	後期に向けた評価 コンポストについては拡大しています。 指標 については世帯数の把握が難しいため、 検討が必要です。	後期に向けた評価 コンポストについては拡大しています。 指標は把握しや すい項目への変更が必要です。	修正しました。
42	37	生ごみのところ	日野市としてダンボールコンポストを積極的に推進していると思いますが、全く推進に関して熱意が感じられませんでした。今後ダンボールコンポストはどうするのでしょうか？	今回の改定ではダンボールコンポスト以外にもバック型のLFCコンポストや堆肥を利用しない方向けのキエーロなど、家庭のニーズに合わせた生ごみ減量を加えましたが、ダンボールコンポストの推進は今までどおり継続していきます。今後の取り組みについては協議会や生ごみリサイクルサポーター連絡会の中で検討していきます。
43	38	生ごみのところ	ごみゼロ推進課での展開だけでなく 緑化協会や農業委員会、市民農園の担当課等々他の協力を得られるようにしたほうがもっと広がるのではないのでしょうか？	本プランの実施に際しては生ごみに限らず、市民、事業者、関係部署等の協力が必要なものは協力を得ながら進めていく予定です。各施策の内容に応じて、協力の可否や協力内容が異なるため、個別に関係者と相談・調整しながら進めていきます。
44	46	リサイクル品目の拡大・拡充	これ程きめ細かな検証、計画にはただただ感服しております。その上でさらなる減量に努力、協力が必要である事を感じております。レジ袋に関してもこの回に参加し始めた頃より長年かかって現在があると感じております。また、「ペットボトルのキャップ」収集についても商店会、学校、幼稚園... 一般市民等々数多くの方々のご協力のおかげで私共の収集かごも毎月あふれる程です。聞くところによると約800ヶで「ワクチン」を一人分買えるとの報道もありました。そうしたことから前会に提案があった歯ブラシ、使い捨てコンタクトレンズ等々についても専用カゴ拠点を探して個別収集に努め質の高い資源の収集につなげていただきたいと思います。	市民、事業者、行政が長年にわたって取り組んできた成果がレジ袋の有料化や1人1日あたりのごみ排出量全国2位等の結果につながっていると考えております。今後もごみ減量・リサイクル等に関して、市民・事業者・関係部署と連携しながら取り組んでいきたいと考えております。

第3次ごみゼロプラン中間見直し・改定用の回答シート(まとめ)

資料2-1

	ページ数	該当箇所	修正案又はご意見	事務局から
45	49	普及啓発・情報提供	ごみ・資源分別カレンダーは全戸に配布され、中身は細かく丁寧に説明されているが、要は市民が見ない等関心が薄いことである。啓蒙活動として諸策を講じているがなかなか効果が得られないと思う。広く市民から意見を聞く、他都市の成功例を参考にする等、長い目で対策を講じていただきたい。	ごみ・資源分別カレンダーについては、ごみの排出に慣れている方もいるため、あまりご覧にならなくても、ある程度、適切な排出ができる方も多いと考えますが、普段、排出されないものを排出する際や日野市に引っ越しされた場合等に、重要な情報源になっていると考えております。効果的な広報に関しては常に継続・強化していく課題と考えており、御意見のとおり、様々なものを参考にしながら、常に改善を図っていきたいと考えております。
46	49、50	指標	P48で指標「前期」は7,000件以上達成となっているが、達成状況では33,988件となっており大幅に数値が上がっている。なのに後期指標が10,000件以上を達成するとあるが、その理由が良くわからない。	ごみゼロプランは10年の長期計画であり、中間の段階で令和8年度までの指標を達成しておりますが、達成した場合、必ずしも指標を改めなくてはならないわけではございませんので、そのままの指標としておりました。 ご指摘の内容を踏まえ、今後、どのようにしていくかがわかるように追記します。(資料1参照)
47	57～66、80～82	改定プランの文章の語尾	「です・ます調」で記載すべきところが、「だ・である調」になっている。	修正しました。
48	58	改定プランの囲みの文章	前回(項番30)修正となったところについて新旧対照表のみ修正されて、改定プランの方が修正されていない。	修正しました。
49	62～66	改定プランの下に「施策内容」という項目名が記載されている。(他では記載されていない)	不要なため削除。	修正しました。 なお、20pの記載については他の行動計画の記載と区別するため【施策内容】の項目名は残しました。
50	66	【新規】施策⑤の前	4.5.3 適正処理の推進が抜けている。	修正しました。
51	83、85	NPO法人 ごみ・環境ビジョン21	NPO法人を削除	修正しました。